【 時を蓄積したみどりの建築 】

建築は竣工時が完成ではない。
時を経て使い手の生活や思いが蓄積することで、建物とみどりがなじむ。
「ぼんたな -atelier café-」は、築35年の住宅を転用したカフェ＆ギャラリー。
歳月の中でどんな軌跡をたどり、新たな息吹が吹き込まれたのだろうか。
そこには、時を重ねたからこそ分かる建物と植物の関係性、
そして建築の本質があった。

ぼんたな -atelier café-

設計／阿部勤＋アルテック

東京・練馬区の住宅街に立つ「ぼんたな -atelier café-」。4月末に早咲きのバラがほころび始め、5月の下旬頃までセントセリシアなど何種類ものバラが次々に咲き乱れる。みどりを介して街と庭が緩やかにつながり、ポケットパークのようでもある

撮影／繁田諭　取材・文／植本絵美